

# 本村小学校



## 本村小学校だより

第6月号

発行所 港区立本村小学校  
〒106-0047  
港区南麻布3-9-33  
TEL:03-3473-1462  
FAX:03-3443-8535

### 行事で子供は育つ

校長 山村 登洋

薄曇り、そして心地よい風が常に吹いており、ここ数年来で一番のコンディションで行

**盛り上がった運動会**

うことができました。そんな中行われた運動会はいつも以上に盛り上がった印象を受けたのは私だけでしょうか。

**高学年の影響力は大きい**

先月26日の運動会には、本当に大勢の保護者、地域の皆様にご来校いただきまして、誠にありがとうございました。天候は、暑い時期に練習を頑張った子供たちへの褒美かのような

今回は高学年がこの運動会を盛り上げてくれたのは間違いありません。応援団が先頭になり、声を枯らすまで自分たちのチームを応援する姿、各係活動でのキビキビした動き、そして、完成度の高い組体操の演技。さらには、閉会式での堂々とした代表の言葉。どれをとっても、他の学年

の子供たちは「あんな高学年にになりたい」と思ったのではないのでしょうか。行事で子供は育つと言われていますが、その通りでしたね。

**特別の教科「道徳」**

今月の9日は学校公開とともに「道徳授業地区公開講座」が開催されます。今年度から道徳は特別の教科道徳となり、児童のよさを積極的に認めていく記述式での評価も始まります。保護者の皆様も道徳の授業を受けてこられたと思います。どんな授

業か覚えていますか。今回の教科化の背景には「いじめ問題」への対応があります。道徳の授業だけではなく、学校全体の教育活動を通して道徳を大切にしていくことが求められています。様々な道徳的価値に対して「これからの自分の生き方について考える」ことが必要となってきました。例えば、「きまりはなぜあるのか」「まきりは守らなくてはならないのか」という価値に対する色々な考え方から「自分はどうだったか」「それでよかったのか」「これからはこうしてい

う」と自分の生き方に結びつけさせることが重要です。

**議論する道徳**

そのために子供たちが自ら考え、討論していく授業づくりが求められており、本校でも取り組んでいる真つ最中です。教科書にある主人公の葛藤の裏にある



### 道徳観のある人とは

- ①人の悪口を言わない…どんなときでも人の悪口を言わないということが普通にできる。
- ②人が見ていないところでもルールを守る…他の人が見ていなくても、自分は見ているという意識が強い。
- ③約束を守るために最善をつくす…人に迷惑をかけないようにするのが、ベスト。
- ④人の嫌がる仕事、任務を進んで引き受ける…自らが不利になっても人のためになることをする気持ち。

価値観の高低、他の価値観とのかかわり、多様な価値に対する考えを発表し、「そういうことか」「その考えは素晴らしい」「よし、自分でもやってみよう」というように議論を通して高まっています。まずは、子供たちが自由に議論できる授業づくりを進めていきます。